



ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

京都部部報



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION 9

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

JAPAN WEST

第2号／2025-2026年度 BULLETIN

京都部部長	主題	次のステージを求めて！ Looking for the next stage！
西日本区理事	主題	世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう!! "Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!"
	スローガン	あなたに寄り添う。あなたを忘れない。 "Stay with you. Never forget you."
国際会長	主題	"Faith, Love, Action" 「信念、愛、行動」
	スローガン	"Together Stronger" 「共に、より強く」
アジア太平洋地域会長	主題	"Act now with faith and love!" 「信念と愛を持って行動しよう！」
	スローガン	"Contribute to local society together with YMCA and Youth!" 「YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう！」

京都部部長
隠塚 功 (京都パレス)

西日本区理事
中井 信一 (奈良)

国際会長
エドワード オン (シンガポール)

アジア太平洋地域会長
田上 正 (熊本むさし)

次のステージを求めて！ Looking for the next stage!

第30代京都部部長 隠塚 功

京都パレスワイズメンズクラブ

早いもので、30期も上半期を終えることとなりました。この間の皆様のご協力に心から感謝いたします。ありがとうございました。

上半期では18クラブへの部長公式訪問、京都部部会、ワイズデー、各委員会の懇談会、そしてYMCAサポート事業と、本当に多くの皆様にお支えいただき、どれをとっても私たち京都部役員にとっては楽しく、そして一体感を感じられる機会になったと思っています。皆様にも同様に感じていただけたものと主催者として自負しています。

さて、下半期の京都部の活動はYMCAをサポートしていく事業が中心となってきます。特に今年はリトリートセンターが開設60年を迎えることから、どのチャリティ事業にもリトセン60周年を掲げての開催となります。これからの30年に支援をするつもりでご協力をお願い致します。

また、次期につなげていくのも下半期の大きな役割です。現在、京都部には韓国・台湾のクラブからIBC締結希望が来ており、締結を検討いただいているクラブがありますし、ウイングクラブでは自らのネットワークでIBCとDBCの締結に向けて交流を進めておられます。さらにクラブ運営の再構築を検討しているクラブや、来る周年例会の準備を進めているクラブがあるなど、部長主題とした「次のステージを求めて！」に取り組んでいただけています。

各クラブのこうした取組をしっかりサポートさせていただきますので、下半期もどうぞ宜しくお願い致します。





次期部長

寺久保 吉雄 京都グローバルワイズメンズクラブ

準備役員会から要職の皆様は全力で取り組まれて半期を迎えようとしております。各々が役割に向けての準備を何度も精査しながら当日に挑まれていました。京都部役員は隠塚部長の元、全員が支え合う姿勢を感じました。各会長はじめ多くのワイズメンや関係者に出来るだけわかりやすく説明をされご協力をお願いしていくことを身近で見て、京都部をまとめ上げることのご苦勞と重要性を感じました。次期部長の私の役目はと聞かれると、次期に向けては個人的に勉強させていただいておりますが、初めてのことばかりで役員会の進め方などから自クラブとの違いを感じております。そのような状況ですので助言出来るスキルも経験ありませんが、会議や各事業には積極的に参加するように努めました。また部会や他クラブの事業にも参加させていただきました。参加して気づいたのは、健康であるから他人に負担を掛けることなく無事に開催出来ること、当たり前のことです。準備していても体調不良になることもあります。私の役目は「毎日の健康管理にお気を付けください」と労いの言葉が多かった半期でございます。その中で11月の次期役員研修会に参加出来たことは、ワイズとYMCAの理解が深まりました。あと半期も京都部を盛り上げられるように努めたいと思います。皆様どうぞよろしくお願い致します。



直前部長

山下 大輔 京都トップスワイズメンズクラブ

新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします！

早いもので30期京都部も半期が終わりました。昨年は京都部長でやってきた一年とは、全く違った景色で過ごさせて頂いております。今期の隠塚部長の働きはまた自分とは違う働きをされていて感心させられています。直前部長という立場になった途端気を抜きまくって今期の京都部に参加させて頂いております。昨年やってきたからこそわかる部長の大変さや楽しさを、また違った目線で見させて頂き楽しく過ごしております。まだまだ、京都部も変えて行かないといけない所もありますが隠塚部長、次期の寺久保部長と引き継ぎ新しい改革をして行って欲しいと思います。まだ、半期ありますがメンバー増強やワイズライフの楽しさをメンバー全員が一丸となってこの京都部を盛り上げて行けたらと思います。陰ながらにはなりますがご協力致しますので30期隠塚部長期を盛り上げたいと思いますので皆様と一緒に頑張ってください！



監 事

武村 松一 京都ウイングワイズメンズクラブ

まず、京都部部長始めキャビネットの皆様、役員の皆様、各クラブ会長の皆様半年間お疲れ様でした。半年たった今、期初の不安などは既に消え去っていることと思います。京都部の行事においては、各クラブへの公式訪問から始まり、西日本区各部会への参加（もちろん随行役員さんも含め）など随所にご苦勞があったと思います。特にワイズデーにおける部長・役員さんの働きには頭が下がる思いでした。まだ半年残っているとはいえ、心境としては半分以上済んでしまっている心境ではないかな？と経験上の印象です。しかし残り半年、まだまだ事業が残ってる状態においては、前記の記述が適当ではない部分もあるような気がします…。そこで表題の意味を頭に浮かべていただきたいと思います。後半も続く事業の中で、この「半年後」には「樂園」が待っているのです。達成感や解放感に浸り半年前に比べれば「樂園」のような世界が広がることでしょう。その「樂園」を目指してあと半年のお働きをお祈りいたします。この私もあと半年で京都部へのご奉公も終了いたします。終了した暁には、細々と目立たぬようにクラブライフを送りたいと思います。残る期間もよろしくお願い致します。



YMCA連絡統括主事

藤尾 実

昨年7月に始まったユイズメンズクラブ京都部・隠塚部長期も、早いもので上半期を終えました。今期の部長標語として掲げられた『次のステージを求めて！「Looking for the next stage!」』には、他の奉仕団体や異業種交流会とユイズメンズクラブとの違いや強みを見つめ直し、幅広い活動の中で「YMCAの活動を支援すること」の重要性を改めて意識していこうという思いも込めていただきました。11月に開催されたユイズメンズクラブ京都部主催の「ユイズデー」は、ユイズメンズクラブの事業を広くアピールするとともに、能登半島被災地支援やYMCA会館の活用を通じて、私たちの活動を市民の皆様にお伝えする貴重な機会となりました。また、リトリートセンターの維持管理ワークや、リトリートセンター60周年記念募金をはじめとするYMCA各種寄付金へのご協力など、京都YMCAの諸活動に対し多大なるご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

現在、京都YMCAでは「地域から必要とされる存在になる」ことを目標に、2024年度に策定した中期計画に基づき、2026年度までの社会課題への取り組みを進めております。これらの取り組みを、今後もユイズメンズクラブの皆様と共に推進していきたいと考えております。今後とも、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



書 記

大橋 芳夫 京都パレスユイズメンズクラブ

今期、京都部の書記として約半分が経ちました。実際には期の始まる前から準備が始まっているので、気分的にはだいぶ峠を越えた気持ちになっています。残りの下半期も事業をしっかりこなし、次期の寺久保部長へのバトンタッチまで、責任をもって進めていきたいと考えています。2回目の京都部とは言え、慣れないことが多く、議案の作成や、議事の進行もなかなかスムーズにはいきませんが、キャビネットや周りのメンバーの温かい協力のもと、笑顔あり、かつ真剣な討論が出来ていて、想像以上に隠塚部長期の1年は中身の濃いものになっているのではないかなと感じています。京都部部会では、評議会に始まり、メネットの集い、そして部会の1部から3部まで、多くの参加者にも恵まれ、無事終えることができました。中でも京都市少年合唱団は想像以上に素晴らしく、見ていた多くのユイズメンの心を打ったことだと思えます。ユイズデーも当日残念ながら雨になってしまいましたが、多くの参加者を集めることができ、ユイズメンの広報という第一目標のみならず、リーダー達との交流など大きな成果がありました。これらの結果は、事前準備のたまものだと思っています。京都部は1年ごとの単年の事業ですが、多くの経験をつましてもらっているので、本当に勉強になっていると思います。



書 記

池袋 晴彦 京都パレスユイズメンズクラブ

早いもので、今期も上半期が終了いたしました。2024年の年末にご縁をいただいて以降、パレスクラブとしての活動にとどまらず、京都部会全体に関わる多くの皆さまと交流させていただく機会に恵まれ、活動の幅が大きく広がった半年であったと感じております。

京都部会の諸活動やユイズデーの成功に対して、微力ではございますが京都部の一員として関わらせていただけたことを、大変ありがとうございます。これらの経験は、私自身にとっても多くの学びや気づきを得る貴重な機会となりました。

また、ユイズデーや卓球例会においては、京都カグヤライズの選手をお招きいただく機会も頂戴し、競技の魅力やチームの取り組みを直接お伝えできたことを大変嬉しく思っております。卓球というスポーツを通じて、世代や立場を越えた交流が自然に生まれ

たことは、改めてスポーツの持つ力を実感する場面でもありました。

年々、クラブ内外での交流や情報交換の機会が増え、クラブの枠を越えた仲間とのつながりが広がり、関係性がより深まっていることに心より感謝申し上げます。

残りの下半期におきまして、引き続き微力ながら隠塚部長のサポートをはじめ、皆さまとのご縁と交流を大切にしながら、少しでもお役に立てるよう努めてまいります。

下半期もどうぞよろしくお願いいたします。



会 計

渡邊 大介 京都パレスワイズメンズクラブ

京都部550名を超えるワイズメンの皆様、いつもお世話になっております。

30期京都部会計の渡邊大介です。

あっという間に上半期が過ぎました。

隠塚部長のキャビネットとして、私自身はじめての京都部役員、会計の大役を拝命すると決まってから、緊張と不安を感じておりました。

2025年3月の会長主査研修会、6月の第1回評議会や各事業懇談会を通じて、多くの方とお会いする機会が増えるにつれて、緊張と不安は少なくなり、楽しみに感じるようになりました。

それは京都部役員、京都部の各クラブ会長の方々、皆様とても明るく魅力的で気さくに交流することができる雰囲気があるからだと思います。

上半期では、パレスクラブがホストクラブを務めた京都部部会、京都三条YMCAをフルに活用したワイズデーといった大きな事業は京都部全体の盛り上がりによって、ワイズメンの結びつきをより強くし、広がっていくことを実感しました。

残り下半期と考えると少し寂しい気持ちもありますが、会計としての役割を全うし、寺久保次期部長期へスムーズに引継ぎができるよう努めます。

また、できる限り多くの事業に参加し、この貴重な機会を楽しんで過ごしていきたいと思っています。

あと半年、皆様どうぞよろしくお願いいたします。



事務局長

服部 洋典 京都パレスワイズメンズクラブ

あっという間の半年・・・というのが本音です。事務局長としての役割は何か？を考えながら動く日々でした。

各クラブと京都部、そして西日本区を繋ぐお役目、上手くできたかな？と振り返っています。

これまで、あまり他クラブのメンバーとの関わりが少なく、引きこもり体質だったのですが、前期はPR委員長としても関わらせて頂いていたため、クラブを跨いでの活動についても気負いせず、すんなりとお話などできたのかなと思っています。これらの経験を活かし、残り半年ですが、京都部全クラブの活動がスムーズに動けるよう、つなぎ役として頑張っていきたいと思っています。

また、今期、各クラブから発信されているブリテンを全て読むようにしています。細かなところまで読んでみると、各クラブの特色なども見えてきて、非常に勉強になりますよ。皆さま、ご一読を！



主査主題

NO Yサ・ユース、NO Y's LIFE

YMCAサービス・ユース事業主査

安田 繁治 京都ウエストワイズメンズクラブ

今期がスタートして早いもので半年がたちました。Yサの活動は、リトセンのワークから始まりました。いつものクラブワークの参加と、主査としてのワークに参加させて頂き、他クラブさんの活躍を目にすることが出来良い経験をさせて頂きました。

8月の初頭より部長公式訪問の随員として、北京都フロンティア・ウイング・めいぷるクラブの例会に参加させて頂きました。9月にパレス・ZEROクラブさんに訪問しました。

9月13日には京都部会に京都部役員として参加させて頂きました、パレスクラブさんがホストの異色の素晴らしい部会でした。

10月の部長公式訪問の随員として、ブラック・ウエストクラブさんに訪問しました。

11月にワイズデーが開催され三条YMCA本館内でリーダーと子供達のクラフトワークショップを一緒に出来たことで良いコミュニケーションがとれYの認知度をあげれたとおもいました。

12月に最終部長公式訪問の随員で沖縄クラブ・沖縄新風クラブ合同例会に参加して、翌日に沖縄YMCAに訪問し、少しの確執を隠塚部長・金武竹・長堂会長と共に解決の一步になる為の打合せの場を持っていただきました。私事ですが今迄の部長公式訪問で一番有意義な随行だったと思いました。

上半期各クラブさんの独自の事業にはあまり参加出来ませんでしたが、YMCAの事業にははじめての参加が多く改めてYMCAを見直して今後に繋げていきたいとおもいました。

上半期色々な活動をさせて頂きましたが、これからの下半期まだまだやる事は目白押しです。大焚きフェスタ・チャリティーバザー・YYYフォーラム、第二回リトセンチャリティーゴルフetcにもご協力をお願いいたします。

残り半年どうぞよろしくお願いいたします。



主査主題

心豊かな世界を地域から ～Peace from the local community～

地域奉仕・環境事業主査

渡邊 えみ 京都キャピタルワイズメンズクラブ

地域奉仕・環境事業主査として務めさせて頂いてから、早いもので半年が経ちました。この間も、部長はじめ京都部役員の皆さまに支えられ、学びの多い日々を過ごしてまいりました。初めての部長公式訪問随行は自クラブである京都キャピタルクラブでしたので、照れと緊張と安心感が入り混じる中、温かい雰囲気にもまれて初スピーチを終えることができました。随行のたびに多くのクラブの皆さまとお話する機会に恵まれ、役員の皆さんとの距離もぐっと縮まったように感じています。

そして何より、この半年で最も心に残ったのは、やはり「ワイズデー」の取り組みでした。YMCAの立地している地域と共にイベントを行う形とさせて頂きYMCAにもリーダーにも多大な協力をいただきました。実施までわずか3回の会議にもかかわらず、皆さまが力を合わせて素晴らしいワークショップを形にしてくださったこと、また、あいにくの雨の中にもかかわらず交通警備にご協力いただいたこと、その一つひとつに深い感謝の気持ちでいっぱいです。この半年でいただきました事業実施報告書では、支援先との心の交流が具現化している様子が感じられ、読んでいるこちらまで温かい気持ちになりました。「さすがワイズメンだ」と誇らしく思える場面に支えられた半年でした。これからも皆さまと共に、力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



主査主題

クラブの未来を共に創る！継続的な成長と絆を深めよう！

EMC事業主査

森下 克己 京都グローバルワイズメンズクラブ

2025年7月にスタートした今期も、12月をもって前半期を終えることとなりました。EMC事業としてこの半年間を振り返りますと、会員拡大に向けた前向きな成果が見られた一方で、今後の京都部の持続的な発展に向けて、改めて重視すべき視点が明確になった半期であったと感じております。

期首の7月には、入会オリエンテーションやゲスト交流会、懇談会などが複数のクラブで実施され、新たな仲間を迎え入れるための土壌づくりが着実に進められました。実際に4名の新入会員を迎えることができ、京都部全体として良いスタートを切ることができました。

続く8月は夏季という時期的要因もあり活動はやや落ち着いたものの、公式訪問や記念例会への参加を通じて、各クラブの歴史や結束力、メンバー同士のつながりの大切さを改めて実感する機会となりました。

9月には再び入会の動きが活発となり4名の新たな仲間を迎え、10月には各クラブにおける継続的なEMC活動の成果が一気に表れ、多くの新入会員を迎える結果となりました。この10月の動きは、単なる人数増加にとどまらず、各クラブが「ワイズの魅力をどう伝えるか」を真剣に考え、行動してきた成果であり、今期前半を象徴する大きな成果であったと受け止めております。

11月においても入会者を迎え、京都部の会員数は期首535名から11月末時点で557名となりました。

一方で、各月を通じて一定数の退会もありました。

この事実は、会員拡大と同時に「会員の定着」、そして何よりも「メンバー満足」の重要性を強く示すものであると感じております。会員数の増加は重要な指標ではありますが、それだけではクラブの活力は持続しません。

メンバー一人ひとりが、クラブ活動を通じて充実感や居場所を感じられているかどうか、すなわちメンバー満足が、今後のEMC活動の成否を左右する重要な要素であると考えております。

この半年間、部長公式訪問や各クラブの例会、チャリティー行事、懇談会などに参加する中で、新入会員を温かく迎え入れる雰囲気や、メンバー同士が自然に声を掛け合う姿を数多く拝見しました。

こうした日常の積み重ねこそが、メンバー満足の土台であり、京都部の大きな強みであります。その一方で、入会後のフォロー体制や役割づくり、継続的に関わる場の提供については、クラブごとに差があることも見えてきました。

後半期に向けては、入会促進に加え、メンバー満足を意識したEMC活動をこれまで以上に重視していく必要があります。例会や事業への参加しやすさ、役割を通じた関わり、日常的な声掛けやフォローといった小さな積み重ねが、「このクラブにいて良かった」という実感につながり、結果として会員定着とクラブの安定的な発展を支えるものと確信しております。

残り半期は、各クラブとの対話をより一層大切にし、現場の声に耳を傾けながら、実情に即したEMC支援を行ってまいります。会員拡大とメンバー満足の両立を目指し、部内の連携を深めながら、京都部全体のさらなる活性化と、次期へとつながる確かな土台づくりに努めてまいります。



主査主題

♪友達 100人出来るっかな～♪

国際交流事業主査

山田 登喜雄 京都めいぶるワイズメンズクラブ

解らないことだらけで始まった、京都部 国際・交流事業主査でしたが、気づけばもう半年がたっておりまして。色々な事がありましたが本当に楽しい半期だったと思います。

主題の「♪ともだち100人出来るっかなぁ♪」はどこまで達成出来ているか解りませんが・・・ただ多くの方と出会いお話をする事が出来、振り返るとより一層ワイズメンズクラブが好きになった自分に気付く事が出来ました！！

握手から始まり握手で結ぶ！人と人とのコミュニケーションを大事にして頂き、皆様も残り半期を是非楽しみながら友達100人作って頂きたいと思います。またIBC・DBCに向けても積極的なクラブもあり精一杯お手伝いさせて頂く所存で御座います。

ワイズメンズクラブを大いに盛り上げて参りましょう！！

今後も宜しく願い申し上げます。



主査主題

ワイズメンズクラブの認知度向上に貢献する効果的なPR活動

PR委員長

澤田 哲平 京都プリンスワイズメンズクラブ

今期、PR委員長を務めさせていただいております、京都プリンスクラブの澤田です。

上半期を振り返ると、京都部、そして各クラブの皆さまと直接触れる機会を、本当に多くいただいた半年でした。各クラブの例会や行事に参加させていただく中で、どのクラブでも温かく迎えていただき、あらためて感謝の気持ちを感じています。

さまざまなクラブを訪問させていただく中で、「ワイズって、温かいなぁ」と、あらためて気づかされる場面が何度もありました。その空気感や人との距離の近さに触れられたことは、この役割を担わせていただいたからこそ得られた、大きな学びだと感じています。

上半期の取り組みの大きな一つとして、ワイズデーに向けた広報面での活動がありました。

PR委員会としては、チラシやポスターの作成など、宣伝・告知の部分で関わらせていただきました。

当日は雨天にもかかわらず多くの方にご来場いただき、広報としてその一端を担えたことを、素直にうれしく感じています。

下半期は、上半期にいただいた多くの出会いや気づきを大切にしながら、京都部や各クラブの活動がより身近に伝わるよう、PR委員長としてできることを一つずつ積み重ねていきたいと思っています。

いつも快く迎えてくださる各クラブの皆さま、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

残りの半期も、どうぞよろしくお願いいたします。

京都ワイズメンズクラブ 会長 高田 敏尚

会長主題 クラブ、ルネサンス (KYOTO-CLUB Renaissance)

副 題 ルネサンスは中世イタリアでの復興運動です、



期初に「クラブ ルネサンス」という会長標語を掲げました。メンバーが減り続けクラブの存続も危ぶまれたからです。いま半期をふりかえり、少ないメンバーでもオータムフェスタに出店でき、保育園やYMCAのためにクリスマスツリーを設置することができました。室内に飾った大きなツリーの前で、園児や保護者が写真をとっておられる姿をみるとうれしく思います。そして何より2名の入会者を輩出することができました。今期はまだ入会候補者がいます。このようなことも、メンバーの力ですし、京都クラブを思ってお支えだと思っています。みんなにクラブの方を向いてもらう、無理せず程よく力を出してもらえる、会長の役割かなと思っています。

『なぜ働くと本が読めなくなるのか』という本が売れています。長くて変な題名ですが。そのなかで、日本人は全身全霊が好きなのだが、ちょっと一息ついて半身で生活することが勧められています。働いて働いて働いて—これを5回、去年の流行語大賞になったようですが、そこを半身にすると余裕がでてくる、見えなかったものも見えてくるというのです。もともと僕はたいして働いていませんが（その分、現役時代から世界各地を巡りましたが）、歳も歳だし「半身」で後期臨もうと思っています。

京都パレスワイズメンズクラブ 会長 新納 麻衣子

会長主題 恩返し and 恩送り

副 題 恩送りのバトンを次の世代に



ちょうど1年前の12月に各事業委員長の顔ぶれが決まり、そこから半年間の準備期間を経て開始した55期。始まるまでは結構長く感じましたが、始まってからの半年は想像していたより早く過ぎ去り、会長として充実した楽しい毎日をすごすことができました。

8月の熊本でのアジア太平洋地域大会では、大野ワイズのスピーチ応援に多くのメンバーで参加し国際大会を満喫することができました。9月は隠塚部長輩出クラブとして京都部部会のホストを無事につとめることができました。10月はポテトファンデ、11月はワイズデー、12月はクリスマス例会と、メンバーが主体的に参加することで達成感を得られたと思います。

現在、来たる4月18日の55周年記念例会にむけて準備を行っており、少しずつ形ができてきました。せっかくの一大イベントなので、全員参加で取り組み、全員が達成感を得られるのが目標なのですが、会員数が多いため全員を巻き込んでいくことの難しさを痛感しています。下半期はご出席いただくワイズメンに楽しんでいただけるような記念例会を目指してクラブ一丸となって頑張っています。

京都ウエストワイズメンズクラブ 会長 中川 由宇

会長主題 肝胆相照

副 題 ～認め合い、高めあう～



今期も半分が過ぎました。この間、YMCAや平安徳義会、長岡こおろぎなどの支援先で、どんな人たちがどんな活動をしているのか、交流を通じて知る機会が多くありました。その中で、各メンバーが、自分の世界が広がったり、新たな気づきを得たり、奉仕活動する仲間との絆を深めたり、新しい思い出ができたり、様々な得るものがあったのではないかと思います。私自身も得るものが多々ありました。

これから寒い間はアクティブなイベントが少なくなりますが、奉仕活動を続けていく意義や献金の趣旨について、みんなで学び考えるような例会も持ちたいと考えています。メンバーそれぞれの生き方や他者・社会との関係のあり方の探求に繋がるものとなればと願っています。

引き続き、各メンバーが家庭や仕事そして健康も大切にしながら、みんなで楽しめるクラブ活動ができるよう努めてまいります。行き届かないところがあるかもしれませんが、経験豊富なメンバーを含むクラブの皆様の力を借りながら、円滑な運営に努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

京都めいぶるワイズメンズクラブ 会長 野口 治之

会長主題 やっちゃんえ、めいぶる。

副 題 やらなきゃ、始まらない



今期、初めて会長を務めることとなり、正直何事にも不安が先に立つ思いでした。四十余年の歴史があるクラブにおいて一年間まとめることができるのか、先人たちの築き上げてきたものをきちんと承継できるのか、七月を迎えるまで夜しか眠れない日々でした。

しかしながら、始まってみるとなんてことはない、杞憂であったと気付かされました。もちろん、クラブ内で副会長を始めとする三役の皆の助け舟、また今期クラブから京都部役員を出していることによる国際交流主査の存在があった点も大きかったと心の底から思います。

そういった中でも一番大きかったと感じるのは、他クラブの会長同士の交流です。種々の行事がある中で、そこかしこに見知った顔があるのはとても心強いものでした。これまでのワイズ活動において、事業単位での交流はあったものの、限られた中でのものが多かった印象です。これが会長を務めると、驚くくらいに一気に広がりました。年齢・職種を問わず、ワイズメンというだけで簡単に仲良しになれる、そこには何のしがらみも存在せず、ワイズについて熱く語り合える友がいるだけ。

半期を振り返って、とても楽しく活動ができたと感じています。もちろん至らぬ点には目を瞑った上でとなりますが、種々のワイズ活動が待ち遠しくて仕方がありません。「やっちゃんえ」ば、そこから新たな楽しみや喜びが見いだせるものだと思われました。会長をやることで、普段見ることができない景色を目の当たりにでき、色々な気付きがあります。みなさん、「やっちゃんえ、会長」。

京都キャピタルワイズメンズクラブ 会長 宮崎 順巳

会長主題 恩送り

副 題 ～メンからクラブへ クラブからYMCAへ～



キャピタルクラブ43期会長の宮崎 順巳です。

本当にあっという間の半年間でした。あっという間と言いながらも、振り返ると沢山の事業があり、どの事業にも大勢のメンバー・メネット・コメットの皆様関わってくださっていて、濃密な時間を過ごしてきたんだとクラブに対して感謝しかございません。ありがとうございます。

今期では東京クラブさん、熊本むさしクラブさんとも交流を深められており、東京へ熊本へと家族を巻き込みながら楽しませていただいております。一人でもどこでも行くぞという覚悟を持ちながらやっておりますが、やはりキャピタルクラブ。会長一人では行かせられないというメンバーが沢山いることがこんなにも心強いのだと感動しております。ひょっとすると頼りないと思われているだけかもしれませんが。

上半期もこれまで通りYMCAや京都部の事業に関わっておりますので、下半期も引き続き色々な事業をメンバーの皆様と一緒に協力して楽しんでいきたいと思っております。

今期はCS主査に渡邊えみさんを輩出しておりますので、上半期はワイズデー、下半期はチャリティボウリングとクラブの仕事は残っております。

京都部の皆様、沢山の事業に関わられると思いますが、特にCS事業へのご協力をよろしくお願いいたします。

京都プリンスワイズメンズクラブ 会長 今西 英隆

会長主題 良い思い出をつくりましょう！

副 題 ～Making Good Memory！～



40周年記念期の会長としてスタートした今期は、メンバー全員で『良い思い出をつくりましょう!!』という会長主題を掲げて、色々な活動において時間を共にして、思い出に残る上半期になったと実感しております。特にDBCの伊東クラブ50周年記念例会にプリンスクラブメンバー+京都部メンバーで遠征できた事は、本当に楽しいワイズメモリーとなりました。また、上半期中には40周年記念期チャリティーゴルフを2回開催させて頂き、京都部の皆様には、多大なるご協力を頂いた事、心から感謝しております。

もともと、私のワイズ歴で『一番の良い思い出』となったのが約10年前の京都部会をプリンスクラブが受け持ったタイミングに、とにかく夢中でフラッシュモブを練習して京都部会開催まで走り切った事でした。

下半期は、“あの時の感動をもう一度!”という気持ちを込めて、次期澤田会長期の“1 2 0 5”に開催する40周年記念例会の準備に注力する中で、その記念アクトであるリトセンへの子供遊具ターザンロープの寄贈、東山荘旅行の実行をして参ります。

そんな記念期におけるクラブ活動を通して、ワイズメンズクラブの楽しさ・素晴らしさをクラブ内外に伝える事で、新たな素晴らしいメンバーを迎えられる様に、京都部の皆様との交流も積極的に行っていきたいと思っておりますので、引き続きご指導・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

京都ウイングワイズメンズクラブ 会長 上田 敦

会長主題 仲間とつなげる、未来につなげる

副 題 明るく、楽しく、元気よく！



京都ウイングワイズメンズクラブでは、2025年7月リトセンでのワークから第39期が始まりました。特に印象深いのは、8月恒例の「青い空と白い雲のキャンプ」に加え、IBCを締結している台中グレートビジョンクラブから5名のコメットが来日し、共に京都の夏を楽しんだことです。20歳前後の彼女たちに対し当初は不安もありましたが、次第に打ち解け、私のコメットとはインスタを交換するほどの仲になりました。メンバーだけでなく家族同士も交流を深めることができ、まさにワイズ活動の醍醐味を実感しました。また、韓国や熊本のクラブとの提携話も着実に進んでおり、充実した交流事業を展開しています。

今期の京都ウイングワイズメンズクラブでは、「仲間とつなげる。未来につなげる。」という会長主題とともに、「楽しく、明るく、元気よく」をモットーに活動しています。嬉しいことに各委員長がこれを実践してくれています。八面六臂の活躍を見せる国際交流委員会。充実した活動のワイサ委員会とCS委員会。初委員長ながら精力的な佐藤ワイズ率いるファンド委員会。毎回工夫を凝らしてくれるドライバー委員会、積極的に新メディアを活用するブリテン委員会、100人例会から入会へ繋げたEMC委員会と、どれも大きな成果を上げています。

全力疾走であったという間の半期でした。残りの期間は、前期の下ごしらえをさらに発展させるべく、さらに加速度的に展開していきたいです。

京都洛中ワイズメンズクラブ 会長 竹山 直司

会長主題 ワイズをやらない理由を探さない



振り返ってみると、あっという間の半年でありました。

二回目の会長職ですが忘れていることも多く、メンバーに助けられ、サポートするつもりが逆に助けられている事が多い半期だと思います。

仕事の多忙に終わって頼りない会長やったと思いますが、ワイズデーやオータムフェスタ、他クラブのゴルフコンペなど、去年までに比べると充実したワイズ活動を楽しんでいると思います。

一番記憶に残っているのはクリスマスファミリー例会です。

古参メンバーのマゴメット、新しいメンバーのコメットなど、僕に知る限り過去一番多く参加してくれました。みんなが笑顔で素晴らしい例会になりました。ワイズメンをしていてとても幸せでした。

そして前回もですが、今期の同期会長の親交がとても楽しいです。

会長会などで、他クラブの会長さんとの会話が新鮮で勉強になります。

それから私はファンド委員長も兼任しており、他クラブさんのファンドも会長会のグループラインを通じて買わせてもらっています。食材は美味しいものがたくさんあって、リピーターになりそうです。

最後に京都部部长、役員さんの力にはあまり役立っていませんが、残りの半期、楽しんで頑張ります。

宜しくお願いします。

京都エイブルワイズメンズクラブ 会長 中川 泰人

会長主題 **変革！エイブルクラブ**副 題 **新旧ともに楽しんで**

会長を拝命してから、早くも上半期が終了いたしました。慣れない立場でのスタートでしたが、役員の皆さま、そして会員の皆さまの支えのおかげで、ここまで活動を進めることができました。

今期は、前々期より会員数が順調に増えていることもあり、新しく加わったメンバーの皆さまにも、より参加しやすく、居心地の良いクラブを目指して取り組んでまいりました。例会会場につきましては、これまでの宇治中心の活動のため『パルティール京都』にて行っておりましたが、メンバーが集まりやすい京都駅前の『新都ホテル』へ変更いたしました。

また、他クラブとの交流を深めるため、周年例会や合同例会、YMCAサービス事業にも積極的に参加してまいりました。加えて、親睦委員会を立ち上げ、ゴルフチャリティーコンペの開催や、メンバーのご家族も参加しやすい釣り企画やBBQなどを実施しました。その結果、例会や各委員会への参加率も、少しずつ向上してきているように感じています。

下半期は、これまでの取り組みを大切にしながら、新たな奉仕先の開拓や宇治での活動の充実にも力を入れていきたいと考えております。任期も残り半年となりましたが、来期、来々期へとクラブの良い流れが続いていくよう、引き続き努めてまいります。

京都グローバルワイズメンズクラブ 会長 吉田 知弘

会長主題 **『グローバルクラブは シンカ します！』**副 題 **より広く、より深く、より良い親睦を！**

京都グローバルクラブ@第33代会長 吉田知弘でございます。

『半期を振り返って』思うことは、アツという間に半期が過ぎてしまった感覚です。

どの会長さまも同じだと思いますが、実際には三役の選出・委員長の決定・依頼など今年のはじめから様々な準備は進めていたもので、半期と言いつつ約1年間の活動が済んだことにはなるかと思えます。

私の半期のエピソードは沢山ありますが、意気込んで臨んだ初礼会『総会』の際の会長挨拶だと思います。しっかりとした長文の原稿を書いて行ったのですが、原稿を目で追い読んでいるうちにどんどん頭が真っ白になりグダグダな挨拶から始まった事が一番のエピソードです。そんな中始まった半期の活動でしたかメンバー（特に三役・委員長）の皆さんの助けが凄い！！さすが皆さん会社の経営者・一國一城の主だと感じました。頼んだ依頼はキッチリ120%で実行してもらえる。この感覚はワイズ歴12年ありますが会長になると実感する素晴らしい感覚だと思います。

是非、皆さんに会長経験を味わっていただきたいと思います。ありがたいし、嬉しいし、楽しい感覚です。

今期の私の期には、新たな取り組みを幾つか行いました。

- ・CS事業→嵐山@渡月橋清掃と嵐山@秋花火の運営サポートという2つの新事業
- ・他クラブとの合同例会→従来の合同例会より新たに2クラブ（エイブルクラブ・ZEROクラブとの合同例会を計画・実施

新たな取り組みに対しまわりの方々にご協力いただき実行出来ている事に感謝しています。会長と言う立場になり非常に忙しい日々を過ごさせていただいていますが、後半も楽しんで頑張っ参りたいと思っています。

ありがとうございます！！

京都トップスワイズメンズクラブ 会長 鹿取 俊志

会長主題 クラブをより良く

副 題 友情と成長



長いようで短かったような半期を迎えました。

クラブをより良くを主題として進めていますが良くなったのかは少し先にならないとわからないのかなと感じています。次期、次々期になって少しはクラブを良く出来たのかなと感じられるようにあと半期がんばって進めていきたいと思います。

活動方針は5つありますが概ね良いように進んでるのかなと思います。出席率の向上という所が中々難しく有効な方法が見つかっていません。メンバーの皆さんが少しでもクラブが楽しいなと思うような何かがあれば少しずつ出席率は良くなっていくのかなと感じています。

各委員会は委員長筆頭に担当三役、委員のメンバーが前向きにがんばって頂いています。

Yサはリーダーサポートの推進、CSは継続的な支援、EMCは新入会、メンバー間の交流、満足度の向上、交流はIBC、DBC先との交流、ファンドは目標以上のファンド益、新しいファンド商品、ブリテンはHPの見直し、ブリテン誌の発行、ドライバーは毎例会のスムーズな進行、ビジョンはクラブの未来に向けてメンバーが話せる場所にして頂いています。半分が初めての委員長ですがそれを感じさせない頼もしいメンバーです。

3月には次期がスタートします。次期会長がどのように進めるかとても楽しみにしています。引継も見えてきていますので意識してあと半期がんばっていききたいと思います。よろしくお願いいたします。

京都トゥービーワイズメンズクラブ 会長 桶谷 雄一

会長主題 changing

副 題 克服していこう



京都トゥービーワイズメンズクラブ第30期会長をお引き受けしてから、早くも半期がたちました。

正直に言うと、「もう半年？」と思うほど、あっという間の時間でした。それだけ毎月の例会や行事が中身の濃い、動きのある半年だったのだと思います。

今期の会長テーマ「Changing ～克服していこう～」は、言葉にするのは簡単ですが、実際に行動するとなると、思った以上にむずかしい場面も多くありました。

これまでのやり方や考え方のちがいにぶつかることもありましたが、そのたびに三役や役員、メンバーの皆さんが声を出し合い、支えてくださいました。

例会や事業の中で、メンバー同士が笑い合い、まじめに話し合い、前に進もうとする姿を見るたびに、「このクラブの会長をさせてもらえて良かった」と心から感じています。うまくいったことも、反省することも、すべてが次につながる大切な経験です。

残りの半期も、こわがらず、遠慮せず、仲間と一緒に一つひとつを克服しながら前に進んでいきたいと思っています。皆さんと共に考え、笑い、動きながら、京都トゥービークラブをもっと元気なクラブにしていきます。後半もどうぞよろしくお願いいたします。

京都ウェルワイズメンズクラブ 会長 松田 博一

会長主題 ワイズライフは螺旋階段のように

副 題 そこから見えてくる「温新知故」



私は今期の会長主題を「ワイズライフは螺旋（らせん）階段のように～そこから見えてくる『温新知故』～」といたしました。毎年同じことの繰り返しのように感じられるワイズ活動も、実はその中で螺旋階段を上るように、上へ上へと高みを目指して上っていくものではないのかという思いからの会長主題です。今、半年が過ぎ、その思いの通り活動できているか、振り返っています。

昨年度は、クラブとしての節目、20周年記念例会があり、慌ただしくも充実した活動を送ることができました。その時の気持ちを忘れないように、チャレンジする精神でやっていきたいものです。

前期、柱となる事業、ファンド事業は順調に進めることができました。皆様にご案させていただいた長芋ファンドも多くの方にご協力をいただきました。本当にありがとうございます。また、地域奉仕事業として行いました「動物愛護センターチャリティーゴルフコンペ」も、多くの皆様にご参加いただき、予定通り進めさせていただくことができました。こちらも感謝申し上げます。同じく、地域奉仕事業として、今年度より本格的に取り組みました「祇園祭クリーン活動」も今後しっかりと取り組んでいきたいと思います。

半期もあっという間に過ぎてしまいましたが、ここからは次の年度に向けての準備も始まります。次期会長にスムーズにバトンを渡すことができるように、準備のほうも進めていきたいと思います。今後とも、京都ウェルクラブをよろしくお願いいたします。

京都ZEROワイズメンズクラブ 会長 加藤 学

会長主題 「超感動」

副 題 ～感動を共にする仲間に～



京都ZEROクラブ会長を半期終えて

期が始まる前から役員研修会、役員会、三役会を通して何か自分の色を出せたら楽しめるのかもしれないと、ワクワクした心と、見られているという緊張感の中、会長期となりました。正しいよりも、楽しいをとる勇気を持てたら、メンバーに喜んで頂けるんじゃないかと思い「超感動」～感動を共にする仲間に～を会長主題とさせていただきました。

半期を振り返ってみて自分の精一杯で、自分の色として養護施設の支援事業や京都サンガスタジアム見学＆観戦例会など新たに出来た取り組みには、非常に自分自身喜びを感じてます。

また、それをご一緒して頂いたメンバーとの交流も心に残る事業であり、活動となりました。

逆に、この半期で自身の至らない部分も沢山見えました。一つは、IBCの締結についてメンバーのまとまりを作ることが半期では叶いませんでしたし、一つは次々期部長輩出にも三役に尽力した結果、お引き受けすることが叶いませんでした。

また、例会での出席率もまだまだ、満足できませんし新入会もようやく1月に1名と少ないです。

もっとメンバーの気持ちが高めれるような関り、巻き込み力が必要だなと感じています。

残り半期御座いますが、今からできる事だけでも頑張っ参りたいです。特に会員増強はもう少ししたいです。後半には、合同例会も2つ御座いますから、ゲスト様も呼びやすいので尽力していきたいと思っています。

そして、同期会長会で同期会長と仲良くなれた事。京都部や他のクラブの方と交流を持てたのは半期だけで見ても、非常にクラブにとっても、私個人にとっても財産になり、ワイズ活動の一番の醍醐味に触れて、感じたのではないかと思います。

そして、次期会長に、いい形でバトンタッチして次期会長がやりやすいように、私の会長期を終えることが出来るように次期の事も考えていく残りの半期になればと思っています。

残り、半期ですが皆様、宜しくお願い致します。

北京都フロンティアワイズメンズクラブ 会長 湯沢 隆

会長主題 「10年分の感謝！」

副 題 笑顔溢れるフロンティアクラブ～今この時を楽しもう～



会員の皆様には、日頃よりクラブ運営へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年度は「地域に寄り添い、子どもたちを応援するクラブへ」を基本方針に掲げ、社会貢献と会員交流の充実に努めてまいりました。

上半期の主な取り組みとして、第六回学童野球大会を開催し、会員の皆様の尽力により、安全で活気ある大会となりました。地域の子どもたちに健やかな体験の場を提供できたことは、クラブにとって大きな意義がありました。

また、講師例会の充実にも取り組みました。松本米穀の松本社長をお招きし、「令和の米騒動」をテーマに、米価の変動や食の未来について多くの示唆をいただきました。さらに、京都ウェルクラブの中村ワイズご夫妻からは、長年のワイズ活動を通じて得られた経験談を伺い、クラブ運営のヒントや活動精神を改めて学ぶ機会となりました。

加えて、北京都フロンティアクラブ10周年記念例会のPR活動として、京都部の各クラブを訪問し、多くの励ましとご協力をいただきました。節目に向けた準備が着実に進んでいることを実感しております。

会員拡大は依然として課題ですが、講師例会の魅力向上や地域との連携を通じて、次世代につながる基盤づくりを進めています。下半期も引き続き、活発で魅力あるクラブ運営に努めてまいります。

京都ブラックワイズメンズクラブ 会長 神谷 順也

会長主題 戮力協心

副 題 仲間と歩む、成長の道



半年が過ぎ、様々な活動を行ってきましたがブラッククラブを運営するのに大変でした。

設立メンバーであった2名が退会されるとのことでブラッククラブの運営が大変になったのですが、現在はそれも乗り越えまして楽しく活動できております。

ブラッククラブは7月納涼例会、8月夏祭り、9月京都部部会、10月ファンドオークション例会と部長公式訪問、11月ワイズデー、12月クリスマス例会に力を入れてさせていただきました。

8月のブラッククラブのメインイベントである夏祭りを開催いたしました。急遽雨が降ったりするなど色々ございましたが最後までやる切ることができました。京都新聞にも記事になり、少しずつブラッククラブが力を入れてきた活動が知られてきたのではないかと思います。夏祭りも最初は中止することも考えていたのですが、7月から本格的に動き出し1ヶ月ほどであそこまで仕上げていけるブラッククラブの強さを感じることができました。

11月はワイズデーに参加してクラブ全体としても力を入れました。ブラッククラブでは子供達に向けておもちゃ作りを行い、子供達と一緒におもちゃを作り楽しんで貰えるように活動を行いました。こういう子供達へ向けてのイベントに対してはすごくブラッククラブの凄さを改めて感じるすることができました。

半年間で入会者3名を迎えることができ、少しずつブラッククラブのメンバーが増えており、少しずつ基盤もできてきております。ワイズメンズクラブとしての活動を活発にできるクラブにできるように今後とも精進してまいります。

沖縄ワイズメンズクラブ 会長 長堂 嘉範

会長主題 沖縄ワイズとしてのカルチャーをつくる

副 題 次世代につなぐための土台づくり



沖縄ワイズメンズクラブでは『沖縄ワイズとしてのカルチャーをつくる～次世代につなぐための土台づくり』を会長主題で掲げ2025年度-2026年度が始まりました。

活動目標としては沖縄ワイズ、新風ワイズとメンバー各々の強みをいかして連携を深め意義ある例会を推進していく事でしたが参加率が悪い時もあり課題が残る上半期でした。

下半期は会長として声掛けを行い、活動を活性化していきたいと思います。

12月の京都部部長公式訪問では隠塚部長はじめ安田Yサ主査、森下EMC主査、大橋書記、渡邊会計とも沖縄の課題や現状など様々な意見交換で話も弾み実りある時間を持つことが出来ました。

また、沖縄YMCAとの協調を進めるきっかけづくりが出来た事も小さな一歩ですが今後の活動に繋がる成果となりました。

残りの半期は沖縄ワイズメンズクラブの認知度を高めることとEMC活動を進めていきたいと思います。

沖縄新風ワイズメンズクラブ 会長 金武 朝成

会長主題 みつけよう 伝えよう

副 題 足元を見つめワイズメンズクラブの魅力を再発見



この半期、オリジナルな活動も動かずに、淡々と沖縄クラブとの定期例会を開くのみ。という状況が続いて居ました。

ところが、先日の隠塚部長公式訪問後、沖縄YMCA様への訪問の機会を作っていただきました。沖縄YMCAの現状、沖縄クラブとのわだかまりなど、率直にお話しすることが出来ました。沖縄新風クラブとしても、どう関わっていくかを模索していかなければなりません。その場で合意を得たのは、部長公式訪問は、沖縄YMCAを使い、部長、沖縄クラブ、沖縄新風クラブ、沖縄YMCAでの合同例会と、実現するのであれば、屋上バーベキューという事になりました。子ども達への支援をすることがY'sの使命ではありますが、まず、協力体制を整えていく事からしか支援は出来ないでしょう。京都部の力を借りながら、支援の幅を広げていきたいと思います。

もう一点、京都部との付き合い方という部分では、物理的な距離が課題で、チャリティゴルフ、合同例会等への参加が難しく、部の会議、大会などでしかお会いすることが出来ません。和気藹々としたコミュニティですので、非常にうらやましく思います。京都に定期的に仕事でもあれば・・・と思う次第ですが、すぐに何かが変わる事は出来ないでしょう。

沖縄新風クラブも人員・人材の面で厳しく、今期で3期目会長になっていますので、本当は良くないでしょうが、ゆっくりと顔なじみになっていければと思います。